



鶴田町柔道少年団が東北一になる

2つの東北大会を制する

11月27日(土)、28日(日)に岩手県宮武道館(盛岡市)で開催された「第30回スポーツ少年団東北ブロック柔道交流大会」で、鶴田町柔道少年団(太田明監督)が、男子団体で3年ぶり2度目の優勝を飾りました。さらに、12月11日(土)、12日(日)に山形県真室川町で行われた「第4回東北少年少女柔道錬成大会」の低学年の部で2年連続優勝、高学年の部で初優勝を飾り大会完全制覇を果たす偉業を達成しました。

今回、この偉業を達成してくれた柔道少年たちと監督に、優勝までの道のりを取材しましたので、ご紹介します。

鶴田町柔道少年団は平成14年から、当時また現役の選手だった太田監督が「子どもたちにもっと強くなつて欲しい」の一心から監督になり指導してきました。率いた当時のことを太田監督は「そのころは本当に弱かったんです。西北地区の大会に出場しても、1回戦が鶴田町なら対戦相手が手を上げて喜んでいました。今思うとその当時の悔しさがバネになって、子どもたちが厳しい練習に耐えてきてくれて今があるんだと思います。」と語ってくれました。

東北大会の前に、柔道少年団父母の会会長の渋谷清及さんが、監督には内緒で選手たちとある約束

第4回東北少年少女柔道錬成大会 団体の部 低学年優勝

<戦績>

予選リーグ 3戦1分けで決勝リーグへ進出

決勝リーグ

対 高橋道場(山形) 2-1

対 気仙沼(宮城) 3-0

対 立川(山形) 3-0

決勝 対 御野場(秋田) 2-1

※2年連続2回目の優勝

・写真/右から

増田彪^{ひょう}選手(富士見小1年)

得意技…つり込み腰

笹森翔^{とむ}夢選手(鶴田小2年)

得意技…内股

寺山健太郎選手(鶴田小3年)

得意技…内股



大活躍！柔道少年団が東北大会優勝

・東北の2大会を制した団体男子高学年チーム
 <優勝までの道のり>

○第30回スポーツ少年団東北ブロック交流大会

予選リーグ 3戦全勝で決勝リーグへ進出

決勝リーグ

準決勝 対 三船十段記念館(岩手) 3-0

決勝 対 須賀川市石背(福島) 2-2

(内容勝ち)

※3年ぶり2度目の優勝

○第4回少年少女柔道錬成大会・団体の部 高学年

予選リーグ 3戦全勝で決勝リーグへ進出

決勝リーグ 対 南沼原(山形) 4-0

対 御野場(秋田) 3-0

対 八戸市(青森) 2-0

決勝 対 力善(茨城) 2-1

※初優勝



東北2大会を制した選手たち



大将

葛西海渡選手

(水元中央小6年)

得意技…払い腰

将来の夢…オリンピック選手



副将

神成太壽選手

(板柳北小6年・大性出身)

得意技…内股

将来の夢…オリンピック選手



中堅

奥瀬雄心選手

(鶴田小6年)

得意技…払い腰

将来の夢…全国で優勝



次鋒

渋谷恭英選手

(鶴田小6年)

得意技…つり込み腰

将来の夢…世界一になる



先鋒

山田日南人選手

(鶴田小6年)

得意技…背負い投げ

将来の夢…オリンピック選手

「力善トーナメント」(茨城県土川田倉)

「講道学舎杯柔道大会」(東京都世田谷)

○1月10日(月)

「少年柔道錬成交流会」(福島県いわき市)

○1月9日(日)

これから出場する柔道少年団の大会は、

これを機に、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。

大会を終えた12月13日(月)、

柔道少年団の太田監督と選手ら15人が役場を訪れ、中野町長に優勝報告会が行われました。訪れた選手たちに中野町長から「本当におめでとう。これからもっと頑張つて、日本一や世界一を目指してください。」と激励の言葉が述べられ、

選手たちは「日本一になって、将来はオリンピックに出て世界一の選手になります。」と力強く語っていました。



市)と全国クラスの大会が続いており、まだまだ柔道少年団から目が離せません。

取材の最後に太田監督は「講道学舎杯柔道大会(全国から選抜されたチームによる大会)に出場できるのは本当に光栄なことですよ。まだこれからのチームですので、ぜひ皆さんで子どもたちを応援してあげてください。」と謙虚に話していました。

・子どもたちに指導する太田明監督

～監督からの一言～

「最近、柔道をやる子どもが少なくなって残念です。子どもの心の成長のためにもぜひ柔道を始めてほしいと思います。町の柔道教室では体験や見学も自由にできますのでぜひ一度道場にお越しください。」